

148

樞密院書記官長	同	大臣	(甲號)
法制局長官	同	大臣	(發信人)
内務次官(一〇〇部)	同	大臣	
内閣書記官長	同	大臣	
同 副議長	同	大臣	
樞密院議長	同	大臣	
臺灣總督	同	大臣	
朝鮮總督	同	大臣	
關東長官	同	大臣	
各省大臣(除宮内大臣)	同	大臣	
内閣總理大臣	同	大臣	

0308

147

類A1.1.0.25-6-2-X

昭和七年三月廿二日
情報部第一課長
送付先 別表ノ通り
清洲事變ニ關スル歐米新聞論調(二〇)

上海支那支衛安事...
外國支那情報部調査係

0307

150

(乙號)

閑院宮家	浮田	事務官
秩父宮家	前田	事務官
高松宮家	吉島	事務官心得
伏見宮家	奥名	事務官
公爵	西園寺	公望
伯爵	牧野	伸顯
伯爵	山本	權兵衛
伯爵	清浦	奎吾
伯爵	伊東	巳代治
子爵	金子	堅太郎
久保田	久保田	議
富井	富井	政章
石黒	石黒	忠憲
黒田	黒田	長成
赤坂	赤坂	福吉一
小石川	小石川	金富三五
牛込市	牛込市	谷藥王寺七一
牛込揚場	牛込揚場	一七
芝區	芝區	高輪臺町三二
府下	府下	入新井新井宿二二一一
麴町區	麴町區	永田町一ノ一七
神奈川縣	神奈川縣	葉山町一色
静岡縣	静岡縣	興津町
芝區	芝區	三田臺町一ノ五

0310

149

資源局長官	同
貴族院書記官長	同
衆議院書記官長	同
關東廳外事課長	情報部
參謀本部 (五部)	同
海軍軍令部 (五部)	同
陸軍省新聞班長	同
陸軍省調査班	同
鐵道省國際觀光局長	同
陸軍省調査班	同
印刷局官報課長	同
陸軍省軍務局長 (三部)	同
海軍省軍務局長 (三部)	同

0309

REEL No. A-0102

0496

[illegible]

0312

157

古市公威	市外澁谷常盤松一八
江木千之	牛込余丁三五
櫻井銳二	本郷駒込曙三
荒井賢太郎	小石川大塚仲町四一
河合操	府下和田堀堀ノ内原四三
石原健三	市外下大崎七一
鎌田榮吉	市外目黒下目黒五五五
子爵 石井菊次郎	澁谷町青葉通一五
鈴木貫太郎	市外巢鴨宮下一五七六
岡田良平	小石川原町一二五
水町袈裟六	市外澁谷神山五五
福田雅太郎	市外代々木山谷一七四
若槻禮次郎	本郷上富士前一二九
幣原喜重郎	本郷駒込上富士前七一
伯爵 内田康哉	滿鐵本社

0311

154

山道襄一 民政黨本部
 鶴見祐輔 赤坂區青山南町五ノ四五
 門多榮男 有樂町二ノ四日本ビル内内外産業資料調査會
 半澤玉城 麴町區中六番町一四 外交時報社
 菱田靜治 青山南町三ノ五五
 高久甚之助 東京驛内「ジャパンツォーリスト、ビュロー」
 太平洋問題調査會(十部) 銀座西七ノ三 貿易會館
 國際聯盟東京支局 青木節一
 國際聯盟協會 丸ノ内二ノ一二 十三號館
 日本外事協會 稻原勝治(二部) 麴町區内幸町太平ビル
 日華實業協會 丸ノ内三ノ八 仲六號館
 滿鐵東京支社調査係(六部)
 東亞經濟調查局 麴町區内山下町一ノ一 東洋ビル
 滿鐵本社總務部調査課
 研究會(十部) 麴町區三年町一

0314

153

理事
 青木新 澁谷町松濤六〇
 山川端夫 丸ノ内仲通四號館中央滿蒙協會内
 木村銳市 滿鐵東京支社
 熊崎良 芝區三田小山町一
 福田市平 麴町區内幸町ジャパン、タイムス社
 關口泰 有樂町東京朝日新聞社
 蠟山政道 東京帝大法學部
 横田喜三郎 同
 高柳賢三 同
 神川彦松 同
 立作太郎 同
 中野正剛 青山原宿一九八
 永井柳太郎 市外千駄ヶ谷町五〇七

0313

158

臺灣製糖株式會社	大阪商船株式會社	日清紡績株式會社	富士瓦斯紡績株式會社	福島紡績株式會社	倉敷紡績株式會社	內外棉花株式會社	東洋紡績株式會社	大日本紡績株式會社	鐘淵紡績株式會社	日本產業株式會社	朝鮮銀行	大日本麥酒株式會社	安田銀行	日本興業銀行
社長	社長	社長	社長	社長	社長	社長	社長	社長	社長	社長	總裁	社長	頭取	總裁
武智直通	堀啓次郎	宮島清次郎	持田巽	八代祐太郎	大原孫三郎	武居綾藏	阿部房次郎	菊地恭三	津田信吾	鮎川義介	加藤敬三郎	馬越恭平	安田善次郎	結城豐太郎

0316

155

日本經濟聯盟會	神戶商工會議所會頭	名古屋商工會議所會頭	京都商工會議所會頭	大阪商工會議所會頭	橫濱商工會議所會頭	東京商工會議所書記長	日本商工會議所會長	東京中央放送局「ニュース」係	立憲政友會本部(十部)	立憲民政黨本部(十部)	火曜會(五部)	同和會(五部)	交友俱樂部(五部)	公正會(五部)	同成會(五部)
丸ノ内一ノ二						渡邊鐵藏						三年町一	永田町二丁目一番地		
												霞山會館內	昭和會館內	昭和會館內	幸俱樂部內

0315

157

大日本製糖株式會社	社長 藤山 雷太
三菱合資會社	總理 木村 久壽彌太
橫濱正金銀行	頭取 兒玉 謙次
日本郵船株式會社	社長 各務 錄吉
三井合名會社	理事長 關 琢磨
日本銀行	總裁 土方 久徵
住友銀行	專務取締役 八代 則彦
臺灣銀行	頭取 島田 茂
大倉組	頭取 大倉 喜七郎
第一銀行	頭取 石川 健吾
明治製糖株式會社	社長 相馬 牛治
東洋棉花株式會社	專務取締役 山崎 一保
芝浦製作所	社長 平田 篤次郎
橫濱海上火災保險株式會社	社長 井坂 孝
日本勸業銀行	總裁 馬場 鉄一
同 調査課	

0317

158

三井銀行	社長 三井 源右衛門
東京朝日新聞社編輯局長	(二部) 麴町區有樂町三ノ一
東京日日新聞社	(二部) 麴町區有樂町一ノ二
時事新報社	(二部) 丸ノ内二ノ一八
國民新聞社	(三部) 京橋區加賀町一ノ二
報知新聞社	(二部) 麴町區有樂町一ノ三
中外商業新報社	(二部) 日本橋區北島町一
都新聞社	(二部) 麴町區內幸町一ノ五
日本新聞社	(二部) 麴町區有樂町二ノ四
中央新聞社	(二部) 麴町區內山下町一ノ一
讀賣新聞社	(二部) 京橋區北紺屋町一〇
東京毎夕新聞社	(二部) 日本橋區松島町一ノ三〇
東京夕刊新報社	(二部) 京橋區京橋三丁目一ノ七
ジャパン・タイムズ社	(二部) 麴町區內幸町一ノ五
東京毎日新聞社	(二部) 京橋區西三丁目

0318

160

新刊解説編纂印
久安堂社外事務課
南原 芳三郎

土井總務課長	日本橋區通二丁目住友合資會社
東京銀行俱樂部閱覽室	丸ノ内一ノ八
學士會	神田區錦町三ノ一三
交詢社	京橋區銀座六ノ四
日本工業俱樂部	丸ノ内一ノ二
日本俱樂部	丸ノ内三ノ一二
大日本紡績聯合會	大阪市中之島江商ビル内
町田外報部長	東京朝日新聞社
國際資料協會	京橋區本八丁堀四ノ五
頭本元貞	麴町内幸町一ノ四
侯爵徳川頼貞	市外上大崎町三三一
東京大勢新聞社	京橋區銀座西五丁目
日本合同通信社	芝區琴平町二番地
丸ノ内新聞社	芝區愛宕町二ノ一一三

0320

159

石井 守三郎

二六新報社 同	(二部) 芝區芝口二ノ七
萬朝報社 同	(二部) 京橋區銀座西二ノ三
やまと新聞社 同	(二部) 芝區愛宕町二ノ三二
大阪毎日新聞社 同	(二部) 大阪市北區堂島上二ノ三六
大阪朝日新聞社 同	(二部) 大阪市北區仲之島三ノ三
新聞聯合社	(四部)
ジャパン、アドヴァータイザー社内	(二部)
ウイルフリッド、フライシャー	
日本電報通信社	(二部)
同社内 ヴォーリン	
ジャパン、マガジーン社	麴町區内幸町一ノ六

0319

162

(甲號)

内閣總理大臣	大臣
各省大臣 (除宮内大臣)	同
關東長官	同
朝鮮總督	同
臺灣總督	同
樞密院議長	同
同 副議長	同
内閣書記官長	大 官
内務次官 (一〇〇部)	同
法制局長官	同
樞密院書記官長	同

0322

161

分類A.1.1.0.25-6-2-73

日支
滿洲事變ニ關スル歐米新聞論調 (一一一)
送 付 先 別表ノ通り

昭和七年 三月十四日

情報部第一課長

昭和七年三月廿四日發送済

記録係

録

陽

外

北

歩

陽

調

陽

調

陽

調

0321

164

(乙號)

子爵	伯爵	伯爵	伯爵	伯爵	伯爵	公爵	伏見宮家	高松宮家	秩父宮家	閑院宮家
金子	伊東	清浦	山本	牧野	西園寺	公望	奧名	吉島	前田	浮田
堅太郎	已代治	奎吾	權兵衛	伸顯	公望	望	事務官	事務官心得	事務官	事務官
久保田	神奈川縣葉山町一色	府下入新井新井宿二二一	芝區高輪臺町三二	芝區三田臺町一ノ五	静岡縣興津町					
富井	小石川金富三五									
石黒	牛込市谷藥王寺七一									
黒田	牛込揚場一七									
長成	赤坂福吉一									

0324

163

資源局長官	貴族院書記官長	衆議院書記官長	關東廳外事課長	參謀本部 (五部)	海軍軍令部 (五部)	陸軍省新聞班長	陸軍省調査班	鐵道省國際觀光局長	陸軍省調査班	印刷局官報課長	陸軍省軍務局長 (三部)	海軍省軍務局長 (三部)
同	同	同	情報部	同	同	同	同	同	同	同	同	同

0323

168

山道襄一 民政黨本部
 鶴見祐輔 赤坂區青山南町五ノ四五
 門多榮男 有樂町二ノ四日本ビル内外産業資料調査會
 半澤玉城 麴町區中六番町一四 外交時報社
 菱田靜治 青山南町三ノ五五
 高久甚之助 東京驛内「ジャパン・ツーリスト・ビュロー」
 太平洋問題調査會(十部) 銀座西七ノ三 貿易會館
 國際聯盟東京支局 青木節一
 國際聯盟協會 丸ノ内二ノ一二 十三號館
 日本外事協會 稻原勝治(二部) 麴町區内幸町太平ビル
 日華實業協會 丸ノ内三ノ八 仲六號館
 滿鐵東京支社調查係(六部)
 東亞經濟調查局 麴町區内山下町一ノ一 東洋ビル
 滿鐵本社總務部調查課
 研究會(十部) 麴町區三年町一

0328

169

理事
 長岡春一 四谷區花園町八八
 青木新 澁谷町松濤六〇
 山川端夫 丸ノ内仲通四號館中央滿蒙協會内
 六日會
 木村銳市 滿鐵東京支社
 熊崎良 芝區三田小山町一
 福田市平 麴町内幸町ジャパン・タイムス社
 關口泰 有樂町東京朝日新聞社
 蠟山政道 東京帝大法學部
 横田喜三郎 同
 高柳賢三 同
 神川彦松 同
 立作太郎 同
 中野正剛 青山原宿一九八
 永井柳太郎 市外千駄ヶ谷町五〇七

0327

169

同成會(五部)	幸俱樂部内
公正會(五部)	昭和會館内
交友俱樂部(五部)	永田町二丁目一番地
同和會(五部)	三年町一
火曜會(五部)	霞山會館内
立憲民政黨本部(十部)	
立憲政友會本部(十部)	
東京中央放送局「ニュース」係	
日本商工會議所會長	
東京商工會議所書記長	渡邊鐵藏
横濱商工會議所會頭	
大阪商工會議所會頭	
京都商工會議所會頭	
名古屋商工會議所會頭	
神戸商工會議所會頭	
日本經濟聯盟會	丸ノ内一ノ二

0329

190

日本興業銀行	總裁	結城	豐太郎
安田銀行	頭取	安田	善次郎
大日本麥酒株式會社	社長	馬越	恭平
朝鮮銀行	總裁	加藤	敬三郎
日本產業株式會社	社長	鮎川	義介
鐘淵紡績株式會社	社長	津田	信吾
大日本紡績株式會社	社長	菊地	恭三
東洋紡績株式會社	社長	阿部	房次郎
内外棉花株式會社	社長	武居	綾藏
倉敷紡績株式會社	社長	大原	孫三郎
福島紡績株式會社	社長	八代	祐太郎
富士瓦斯紡績株式會社	社長	持田	巽
日清紡績株式會社	社長	宮島	清次郎
大阪商船株式會社	社長	堀	啓次郎
臺灣製糖株式會社	社長	武智	直通

0330

171

大日本製糖株式會社	社長 藤山 雷太
三菱合資會社	總理 木村 久壽彌太
橫濱正金銀行	頭取 兒玉 謙次
日本郵船株式會社	社長 各務 錄吉
三井合名會社	理事長 土方 久徵
日本銀行	總裁 八代 則彦
住友銀行	專務取締役 島田 茂
臺灣銀行	頭取 大倉 喜七郎
大倉組	頭取 石川 健吾
第一銀行	頭取 相馬 半治
明治製糖株式會社	社長 山崎 一保
東洋棉花株式會社	專務取締役 平田 篤次郎
芝浦製作所	社長 井坂 孝
橫濱海上火災保險株式會社	社長 馬場 鉄一
日本勸業銀行	總裁 馬場 鉄一
同 調査課	

0331

172

三井銀行	社長 三井 源右衛門
東京朝日新聞社編輯局長	(二部) 麴町區有樂町三ノ一
東京日日新聞社	(二部) 麴町區有樂町一ノ二
時事新報社	(二部) 丸ノ内二ノ一八
國民新聞社	(二部) 京橋區加賀町一ノ二
報知新聞社	(二部) 麴町區有樂町一ノ三
中外商業新報社	(二部) 日本橋區北島町一
都新聞社	(二部) 麴町區內幸町一ノ五
日本新聞社	(二部) 麴町區有樂町二ノ四
中央新聞社	(二部) 麴町區內山下町一ノ一
讀賣新聞社	(二部) 京橋區北紺屋町一〇
東京毎夕新聞社	(二部) 日本橋區松島町一ノ三〇
東京夕刊新報社	(二部) 京橋區京橋三丁目一ノ七
ジャパン、タイムス社	(二部) 麴町區內幸町一ノ五
東京毎日新聞社	(二部) 京橋區西三丁目

0332

173

二六新報社 同 (二部) 芝區芝口二ノ七
 萬朝報社 同 (二部) 京橋區銀座西二ノ三
 やまと新聞社 同 (二部) 芝區愛宕町二ノ三二
 大阪毎日新聞社 同 (二部) 大阪市北區堂島上二ノ三六
 大阪朝日新聞社 同 (二部) 大阪市北區仲之島三ノ三
 新聞聯合社 (四部)
 ジャパン、アドヴァータイザー社内 (二部)
 ウイルフリッド、フライシャー
 日本電報通信社 (二部)
 同社内 ヴォーレン
 ジャパン、マガジン社 麴町區内幸町一ノ六

石津守所

0333

174

土井總務課長 日本橋區通二丁目住友合資會社
 東京銀行俱樂部閱覽室 丸ノ内一ノ八
 學士會 神田區錦町三ノ一三
 交詢社 京橋區銀座六ノ四
 日本工業俱樂部 丸ノ内一ノ二
 日本俱樂部 丸ノ内三ノ一二
 大日本紡績聯合會 大阪市中之島江商ビル内
 町田外報部長 東京朝日新聞社
 國際資料協會 京橋區本八丁堀四ノ五
 頭本元貞 麴町内幸町一ノ四 ヘラルド社
 侯爵徳川頼貞 市外上大崎町三三一
 東京大勢新聞社 京橋區銀座西五丁目
 日本合同通信社 芝區琴平町二番地
 丸ノ内新聞社 芝區愛宕町二ノ一一三

久安野、龍、外、幸、強、長
 南、辰、長、王、郎、常、也、外、幸、強、長

0334

175分類4.1.1.0.25-6-2-1

在外公館表

昭和七年三月廿四日發送済

普通合第

情報部 (總數一四五)

◎歐 洲 (三)		◎南 北 米 (三)		◎亞 細 亞 南 洋 (二六)		◎亞 非 利 加 (四)	
在英大使館	在倫敦總領事館	在米大使館	在シカゴ領事館	在暹羅公使館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在佛大使館	在漢堡總領事館	在ブラジル大使館	在晚香坡領事館	在ベルシア公使館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在獨大使館	在アンヅエルス領事館	在カナダ公使館	在オタワ領事館	在河内總領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在伊大使館	在里昂領事館	在メキシコ公使館	在バナー領事館	在ベルシア公使館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在士大使館	在馬耳塞領事館	在チリ公使館	在マサトラン領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在瑞西公使館	在未蘭領事館	在アルゼンティン公使館	在オマーン出張所	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在西公使館	在巴里國際聯盟事務局	在ホルンル總領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在蘭公使館	在帝國事務局	在桑港總領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在瑞典公使館	在帝國事務局	在紐育總領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在ラトヴィア公使館	在帝國事務局	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在ポーランド公使館	在帝國事務局	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在スロヴァキア公使館	在帝國事務局	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在埃公使館	在帝國事務局	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在ルーマニア公使館	在帝國事務局	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在希臘公使館	在帝國事務局	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在リスボン出張所	在帝國事務局	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館
在フィンランド出張所	在帝國事務局	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館	在スラバヤ領事館

0335

◎露 西 亞 (二〇)		◎支 那 (五二)		◎滿 蒙 (三三)	
在ソヴィエト聯邦大使館	在北平公使館	在南京領事館	在哈爾濱總領事館	在鄭家屯領事館	在鄭家屯領事館
在浦潮總領事館	在上海公使館	在九江領事館	在奉天總領事館	在齊齊哈爾領事館	在齊齊哈爾領事館
在アレクサン	在上海總領事館	在沙市領事館	在海龍分館	在滿洲里領事館	在滿洲里領事館
在アレクサン	在天津總領事館	在宜昌領事館	在通化分館	在赤峰領事館	在赤峰領事館
在アレクサン	在青島總領事館	在重慶領事館	在新民府分館		
在アレクサン	在坊子出張所	在鄭州領事館	在吉林總領事館		
在アレクサン	在濟南總領事館	在厦門領事館	在間島總領事館		
在アレクサン	在張店出張所	在汕頭領事館	在理春分館		
在アレクサン	在博山出張所	在雲南領事館	在牛莊領事館		
在アレクサン	在漢口總領事館	在上海商務參事官事務所	在安東領事館		
在アレクサン	在成都總領事館		在遼陽領事館		
在アレクサン	在廣州總領事館		在鐵嶺領事館		
在アレクサン	在香港總領事館		在撫鹿分館		
在アレクサン	在張家口領事館		在長春領事館		
在アレクサン	在芝罘領事館		在農安分館		
在アレクサン	在蘇州領事館				
在アレクサン	在杭州領事館				

0336

(昭和六年十一月現在)

197

號	（發信人）
內閣總理大臣	大 臣
各省大臣（除宮內大臣）	同
關東長官	同
朝鮮總督	同
臺灣總督	同
樞密院議長	同
同 副議長	同
內閣書記官長	次 官
內務次官（一〇〇部）	同
法制局長官	同
樞密院書記官長	同

0338

176 類 / 1.1.0.15-6-2-11

位計喜更了！
中卷正剛

昭和七年三月廿五日 發送済

情報部第一課長

昭和七年 三月十一日

滿洲事變ニ關スル歐米新聞論調 (一一)

送付先 別表ノ通り

0337

179

(乙號)

閑院宮家	浮田	事務官
秩父宮家	前田	事務官
高松宮家	吉島	事務官心得
伏見宮家	奧名	事務官
公爵	西園寺	公望
伯爵	牧野	伸顯
伯爵	山本	權兵衛
伯爵	清浦	奎吾
伯爵	伊東	已代治
子爵	金子	堅太郎
久保田		讓
富井	政章	
石黑	忠憲	
黑田	長成	
	赤坂福吉一	
	牛込市谷藥王寺七一	
	牛込揚場一七	
	小石川金富三五	
	神奈川縣葉山町一色	
	麴町區永田町一ノ一七	
	府下入新井新井宿二二一一	
	芝區高輪臺町三二	
	芝區三田臺町一ノ五	
	静岡縣興津町	

0340

178

貴族院書記官長	同
衆議院書記官長	同
關東廳外事課長	情報部
參謀本部 (五部)	同
海軍軍令部 (五部)	同
陸軍省新聞班長	同
陸軍省調查班	同
鐵道省國際觀光局長	同
陸軍省調查班 原少佐	同
印刷局官報課長	同
陸軍省軍務局長 (三部)	同
海軍省軍務局長 (三部)	同

0339

佐野重良

理事	木村 銳市	滿鐵東京支社
熊崎 良	芝區三田小山町一	
福田 市平	麴町内幸町ジャパン、タイムス社	
關口 泰	有樂町東京朝日新聞社	
蠟山 政道	東京帝大法學部	
横田 喜三郎	同	
高柳 賢三	同	
神川 彦松	同	
立 作太郎	同	
中野 正剛	同	
永井 柳太郎	市外千駄ヶ谷町五〇七	

長岡 春一 四谷區花園町八八
青木 新 澁谷町松濤六〇
山川 端夫 丸ノ内仲通四號館中央滿蒙協會内
六日會

0343

山道 襄一	民政黨本部
鶴見 祐輔	赤坂區青山南町五ノ四五
門多 榮男	有樂町二ノ四日本ビル内内外産業資料調査會
半澤 玉城	麴町區中六番町一四 外交時報社
菱田 靜治	青山南町三ノ五五
高久 甚之助	東京驛内「ジャパン・ツーリスト、ビュロー」
太平洋問題調査會 (十部)	銀座西七ノ三 貿易會館
國際聯盟東京支局	青木節一
國際聯盟協會	丸ノ内二ノ一二 十三號館
日本外事協會	麴町區内幸町太平ビル
稻原 勝治 (二部)	
日華實業協會	丸ノ内三ノ八 仲六號館
滿鐵東京支社調査係 (六部)	
東亞經濟調查局	麴町區内山下町一ノ一 東洋ビル
滿鐵本社總務部調査課	
研究會 (十部)	麴町區三年町一

0344

185

臺灣製糖株式會社	大阪商船株式會社	日清紡績株式會社	富士瓦斯紡績株式會社	福島紡績株式會社	倉敷紡績株式會社	内外棉花株式會社	東洋紡績株式會社	大日本紡績株式會社	鐘淵紡績株式會社	日本產業株式會社	朝鮮銀行	大日本麥酒株式會社	安田銀行	日本興業銀行
社長	社長	社長	社長	社長	社長	社長	社長	社長	社長	社長	總裁	社長	頭取	總裁
武智直通	堀啓次郎	宮島清次郎	持田巽	八代祐太郎	大原孫三郎	武居綾藏	阿部房次郎	菊地恭三	津田信吾	鮎川義介	加藤敬三郎	馬越恭平	安田善次郎	結城豐太郎

0346

184

日本經濟聯盟會	神戶商工會議所會頭	名古屋商工會議所會頭	京都商工會議所會頭	大阪商工會議所會頭	橫濱商工會議所會頭	東京商工會議所書記長	日本商工會議所會長	東京中央放送局「ニユー・ス」係	立憲政友會本部（十部）	立憲民政黨本部（十部）	火曜會（五部）	同和會（五部）	交友俱樂部（五部）	公正會（五部）	同成會（五部）
丸ノ内一ノ二						渡邊鐵藏							永田町二丁目一番地	昭和會館內	幸俱樂部內

0345

186

大日本製糖株式會社	社長 藤山 雷太
三菱合資會社	總理 木村 久壽彌太
橫濱正金銀行	頭取 兒玉 謙次
日本郵船株式會社	社長 各務 錄吉
三井合名會社	理事長 團 琢磨
日本銀行	總裁 土 方 久 徵
住友銀行	專務取締役 八 代 則 彦
臺灣銀行	頭取 島 田 茂
大倉組	頭取 大 倉 喜七郎
第一銀行	頭取 石 川 健 吾
明治製糖株式會社	社長 相 馬 半 治
東洋棉花株式會社	專務取締役 山 崎 一 保
芝浦製作所	社長 平 田 篤次郎
橫濱海上火災保險株式會社	社長 井 坂 孝
日本勸業銀行	總裁 馬 場 鉄 一
同 調査課	

0347

187

三井銀行	社長 三井 源右衛門
東京朝日新聞社編輯局長	(二部) 麹町區有樂町三ノ一
東京日日新聞社	(二部) 麹町區有樂町一ノ二
時事新報社	(二部) 丸ノ内二ノ一八
國民新聞社	(二部) 京橋區加賀町一ノ二
報知新聞社	(二部) 麹町區有樂町一ノ一三
中外商業新報社	(二部) 日本橋區北島町一
都新聞社	(二部) 麹町區內幸町一ノ五
日本新聞社	(二部) 麹町區內山下町一ノ一
中央新聞社	(二部) 麹町區北紺屋町一〇
讀賣新聞社	(二部) 京橋區北紺屋町一〇
東京毎夕新聞社	(二部) 日本橋區松島町一ノ三〇
東京夕刊新報社	(二部) 京橋區京橋三丁目一ノ七
ジャパン、タイムズ社	(二部) 麹町區內幸町一ノ五
東京毎日新聞社	(二部) 京橋區西三丁目

0348

二六新報社 同 (二部) 芝區芝口二ノ七
萬朝報社 同 (二部) 京橋區銀座西二ノ三
やまと新聞社 同 (二部) 芝區愛宕町二ノ三二
大阪毎日新聞社 同 (二部) 大阪市北區堂島上二ノ三六
大阪朝日新聞社 同 (二部) 大阪市北區仲之島三ノ三
新聞聯合社 (四部)
ジャパン、アドヴァータイザー社内 (二部)
ウイルフリッド、フライシャー
日本電報通信社 (二部)
同社内 ヴォーリン
ジャパン、マガジーン社 麴町區内幸町一ノ六

0349

土井總務課長 日本橋區通二丁目住友合資會社
東京銀行俱樂部閱覽室 丸ノ内一ノ八
學士會 神田區錦町三ノ一三
交詢社 京橋區銀座六ノ四
日本工業俱樂部 丸ノ内一ノ二
日本俱樂部 丸ノ内三ノ一二
大日本紡績聯合會 大阪市中之島江商ビル内
町田外報部長 東京朝日新聞社
國際資料協會 京橋區本八丁堀四ノ五
頭本元貞 麴町内幸町一ノ四 ヘラルド社
侯爵徳川頼貞 市外上大崎町三三一
東京大勢新聞社 京橋區銀座西五丁目
日本合同通信社 芝區琴平町二番地
丸ノ内新聞社 芝區愛宕町二ノ一一三

0350

新子解放報編輯部
久安松尾現
安松尾現
安松尾現

2

日支事變ニ關スル歐米新聞論調(一一三)

外務省情報部
三月二十六日

目次

英國

- 一、倫敦「タイムズ」、
英國極東政策辯護ハ國民過半数ノ
稱讃ヲ得ヘシ。
支那力他國ノ侵略ヲ蒙リタルハ國
防ノ義務ヲ怠リ國際聯盟ニ頼リタ
ルカ爲ナルカ他方上海ニ於テ匪賊
ニ等シキ支那軍ニ對抗シ日本軍カ其
國民ノ利益ヲ擁護スルト共ニ共同
租界ヲモ擁護シタルハ事實ナリ。
極東ノ空ニハ今尙暗雲漂ヘルカ吾
人ハ「サイモン」外相ノ議會ニ於
ケル答辯ニ依リ満足ヲ感スルモノ
ナリ。
議會ニ於ケル外相ノ答辯ハ滿洲ノ
事態ニ對シテ何等ノ光明ヲ齎スモ
ニアラス。
- 二、「モーニング・ポスト」、
三、「クロニクル」、
四、「ガーデียน」、

0351

佛國

「スタブアース、ローザンヌ」氏評論

米國

- 一、「イーヴニング・ポスト」、
對日經濟斷交論者ハ之ヲ以テ平和手
段ト考ヘ居ルモ夫ハ「ボラー」氏ノ
云フカ如ク戰爭手段ナルト共ニ日本
ニ差別的待遇ヲ與フルノミナラス米
國ノ政策ニ背馳スルモノナリ。
- 五、「ヘラルド」、
極東問題ニ對スル外相ノ見解ハ甚ダ
失當ナリ。
- 六、「ジェー、エル、ガルヴァイン」氏論文、
(第九十二號參照)

ニ「オレゴン、ジャーナル」紙上 James K. Polk 氏談話

0352

英國

「倫敦「タイムズ」(二十三日)」

議會ニ於ケル「サイモン」外相ノ英國極東政策辯護ハ國民過半數ノ稱讃ヲ得ヘシ。國民中英國政府ヲシテ聯盟ヲ指導シテ日本ノ行動ヲ脅懾セシメントシタル一派ノモノアレトモ、大多數ハ銃劍ハ「ボイコット」ニ對抗スヘキ最上ノ手段ニアラサルモ一方日本カ武力ニ訴ヘタルハ長キニ亘ル支那ノ挑發ニ惱マサレタル結果ナリトノ「オースチン、チエンパレン」ノ言ニ贊成スヘク、一種ノ經濟的戰爭トモ云フヘキモノニ對シ日本カ或種ノ方法ヲ要求スルハ當然ノ事ナリ。

日支事件ノ特異性ハ紛爭當事國一方ノ政策カ其ノ領土ノ全体ニ統治權ヲ行使シ得サル點ニアリ。從ツテ壽府ニ於ケル支那代表ハ事件ノ當初ヨリ今日迄滿洲ノ事態ニ關シテハ全ク實力ヲ有セサルモノニシテ、在滿外國人ノ生命財產保護ニ付彼ノ與フル約束ハ何等ノ價值ナシ。日支兩國ハ何レモ宣戰ノ布告ヲナササリシカ故ニ若

0353

シ聯盟カ日本ニ對シ經濟封鎖ノ實行ヲ宣言シタリトセハ夫ハ寧ロ不思議ナリ。

外相ハ右ノ事情ヲ洞察シテ聯盟ノ作用ハ調停的ナルヘク強制的ナルヘカラストナシ、英國極東政策ノ方針ヲ其ノ方向ニ定ムルト同時ニ紛爭ノ根本原因ハ今尙議論ノ途中ニアル事ナレハ聯盟ハ其ノ派遣セル委員會ノ報告ヲ得ル迄ハ事件ニ對スル是非ノ判斷ヲ差控フヘシトノ見解ヲトリタルモノトイフヘシ。日本ハ其ノ陸海軍ニ對シ更ニ撤退命令ヲ發シ愈々上海ニ於テ正式會議開催セラルヘシトノ報道ハ吾人ノ喜フ處ナルカ、之ヲ要スルニ調停的勢力ハ成功ヲ見ツツアルモノノ如シ。

ニ「モーニング・ポスト」(二十三日)

支那領土ハ現ニ侵略サレツツアルモ、夫ハ支那カ英國平和論者ト同シク自國ノ軍備ヲ怠リ國際聯盟ニ頼リタルカ爲ナリ。支那ニシテ充分ノ海軍力ヲ有シタランニハ今日ノ如ク其領土内ニ侵入者ノ姿ヲ見ルコトナカリシナルヘシ。支那政府カ他國ノ侵略

0354

ヲ蒙リタルハ國防義務ノ急ヲ怠リ挑發及詭辯ノ政策ヲ取りタル當然ノ結果ナリ。
英國政府ノ弱腰政策ハ支那ニ於ケル秩序破壊者ヲシテ益々亂暴ヲ働カシムルニ至ルヘシ。支那ハ日本ニ對シ營テ英國ニ用ヒタルト同様ノ手段ヲ用ヒタリ、即チ其監視員ハ商人ヲ毆打シ商品ヲ抑留又ハ掠奪スル等ノ亂暴ヲ働キ而モ彼等カ支那裁判所ニ送ラルル時ハ盜賊トシテ處罰サレサルノミカ愛國者トシテ稱讃セラレタリ。
一方武裝セル匪賊ニ過キサル十九路軍ハ支那商人ヨリ金錢ヲ捲上ケ、同時ニ日本在留民ヲ打倒セントノ目的ヲ以テ上海ニ進軍シタルカ、其脅威ハ日本人ノミナラス共同租界ニモ及ヒタリ。上海ニ緊急狀態發生セリトノ旨公布セラレ關係各國軍隊カ凡テ防備ニ就キタル事實ハ右ノ事情ヲ證明シテ明カナリ。日本軍カ其ノ策略ヲ誤リタリトノ譏ハ有ランモ、彼等カ國民ノ利益ヲ擁護スルト共ニ共同租界ヲモ擁護シタルコトハ事實ナリ。
「サイモン」外相ノ議會答辯ハ吾人ノ贊成スル處ニシテ、日支紛爭解決ノ爲ニハ列國及日本ノ隔意ナキ協力最モ必要ナリ。尙現支

0355

那裁判所ニ加フルニ國際裁判所ヲ以テスルコト必要ナルカ、支那人ヲシテ夷ヲ以テ夷ヲ制セントスル彼等ノ常套手段ハ成功不可能ナリト覺ラシムルコトヲ得ハ支那改革ノ第一歩タルヘシ。

三、「クロニクル」(二十三日)

日本政局カ危機ニ瀕セルコト及軍事當局カ滿洲ニ軍隊増派ノ決心ヲ爲セルコトハ極東ノ空ニ未タ暗雲ノ漂ヘルヲ語ルモノナルカ吾人ハ「サイモン」外相ノ議會答辯ニ依リ満足ヲ感スルモノナリ。
日支問題ニ關シ直接制裁手段ヲ用ヒントスル聲ハ聯盟ヨリ一掃セラレタリ。今ヤ聯盟ハ世界輿論ノ力ニ依リ上海ニ於ケル戰鬪行爲ヲ中止セシメタルカ困難ナル滿洲問題ノ平和的解決方法ヲ更ニ發見セサルヘカラス。

四、「ガーディアン」(二十三日)

外相ノ議會答辯ハ滿洲ノ事態ニ對シテ何等ノ光明ヲ齎スモノニ非ス。外相ハ米國ト日支兩國トノ親善關係ヲ維持シタリト主張シタリ。然レ共外相ノ此態度ハ拱手シテ犬ノ爭鬪ヲ傍觀シタル者カ余

0356

ハ何レノ犬ヲモ怒ラシメサリシトテ之ヲ誇ルト同様ナリ。
五「ヘラルド」(二十三日)

外相ハ今尙極東問題ヲ樂觀シ居レリ。聯盟理事會ニ於テ日本軍ハ上海ヨリ撤退スヘシト報告シタルハ外相ニ非スヤ。然ルニ其二日後日本ハ一大攻嚙ヲ開始シタリ。又外相ハ日本軍カ上海ノ軍隊ヲ減少シタルコトヲ喜ビタルモ、彼ハ聯盟ノ要求セル處ハ軍ノ減少ニ非スシテ撤退ナルコトヲ忘レタルモノナリ。外相ハ聯盟規約ト日本ノ行爲トノ間ニ矛盾アラハ夫ハ聯盟規約ノ罪ナリト爲スモノノ如シ。彼ハ便宜上上海ノ事ヲ忘レ且尙滿洲ノ事ヲ忘レタルモノナリ。四回ニ亘ル聯盟ノ要求アリシニ拘ラス日本ハ其軍隊ヲ撤退セサルノミカ之ヲ増加シタリ。侵略占領及聯盟ニ對スル侮辱ノ三ツハ動カスヘカラサル事實トシテ存在ス。而モ外相ハ此不愉快ナル事實ニ對シ目ヲ閉ツルモノナリ。

0357

六「オブザーバー」紙上「ジェー、エル、ガルヴィン」氏論文

(二月廿一日掲載三月廿二日「ジャパンタイムズ」轉載)(第九十一號參照)

(「ガルヴィン」氏ハ元老記者トシテ英國評論界ニ重キヲ爲ス人物)

(標題)「一戦争ノ圏外ニ立ツテ

川岸ヲ歩イテ居タ男カ雨ニ濡レルノヲドウニカシナケレハナラヌト思ヒ水ニ投シテ溺レタト云フ。此ノ話ノ教訓ハ今後幾年カシテ日本ニ當テ候マルカモ知レナイ。然シ差當リ其ノ當テ候マル國ハ我カ英國テアル。

極東ノ武力干涉ニ捲キ込マレサルコトハ英本國トシテモ又英帝國トシテモ絶對ニ必要テアル。ソレハ英國ノ存亡ノ問題テアルト共ニ將來ノ世界平和及軍縮ニ大ニ關係アル問題テモアル。此ノ際將來ヲ洞察スル達見カ必要テアル。英國ノ關スル限り、今武力ヲ動かシテモ災害ヲ招クベカリテ得ル所ハナイ。英國ノ政策ハ寸分タリトモ其ノ方向ニ進ンテハナラヌ。英國人ノ最大多數ハ斯ク決心シテ居ル。

0358

外交問題ノ危機ニ當ツテ立派ナ人達ニシテ往々最モ危険ヲ犯スコ
トカアル。同情スルノ餘リ理性ヲ失ツテ感情ニ走ルカラテアル。
戰禍ノ中ニ躍リ込ンテ戦争ヲ廢シ得ルモノテモナク、戦争ヲ擴大
サセテ戦争ノ熄ム譯モナイ。
日本カ聯盟規約ヲ不戰條約ヲ破ツタト力破ラヌトカ、今ソレヲ詮
索シテモ無駄ナ事ダ。實際政治ニ當ル者ノ急務トスル所ハ先ツ戰
争ヲ局限シ、更ニ之ヲ停止セシムル事ダ。
米國カ行フトシテモ又歐洲カ行フトシテモ極東ニ對スル武力干涉
ハ準備ニ多大ノ時日ヲ要スル。其ノ準備中支那カ何ウナルカ、又
支那ヘ行ク途中ニ如何ナル事が起ルカ知レタモノテハナイ。
戦争ノ原因ハ、現状ニ對スル不滿意、又ハ將來ニ對スル恐怖カニ
發スル。即又換言スレハ自由ノ權利、公平ノ權利及ヒ生存ノ權利
ノ要求カ戦争ノ原因ヲ爲シテ居ル。而シテ日本側今次ノ行動ハ人
間ノ最モ根本的要求テアル生存權カ脅威サレツツアル事ヲ理由ト
スルモノテアル。

0359

日本ハ毎年約百萬ノ人口カ増加シ日本國民ハ世界中最モ危険ナル
状態ニ置カレテ居ル、日本ハ五十年間ニ非常ナ努力ヲ以テ近代の
工業國家ヲ建設シタカ今ヤ國內ノミヲ以テシテハ國家ヲ維持シ得
難ク經濟的ニ大陸ニ依ラナケレハナラナクナツタ。此ハ政治上ノ
保障ト云フ様ナ假定ノ問題テハナク、經濟上ノ切實緊急ノ問題テ
アル支那ノ「ナシヨナリズム」ノ挑戦ニ依リ日本ハ危殆ニ瀕シタ、
外觀上ハ非ガ日本側ニ在ルカノ様ニナツテハ居ルモノ、日本人
自身ハサウ思ツテハ居ナイ。支那側ノ侵略ニ依リ奮起ヲ餘儀ナク
サレテ起ツタニ外ナラス之以外ニ方法ハ無カツタモノト確信シテ
居ル。
凡ソ矜持アル大國民カ生活ノ根底ヲ覆サレ生存權ヲ侵サレタト感
シタ時紙上ノ誓約ハ何等其ノ行動ヲ制スルニ足ラヌモノテアルト
ノ事實ハ之ヲ認メネハナラヌ。
好ムト好マサルトニ拘ラス之ハ事實テアル。消極的ナ規則ハ個人
タルト國家タルトノ區別ナク人間生活ノ創造的要求ヲ律スルコト

0360

ハ出來ナイ。平和ヲ維持センカ爲ニハ政治的和解ニ加フルニ經濟的調節ヲ以テシテ漸次戰爭ノ原因ヲ除去スルト云フ建設的努力ニ俟ツノ外ハナク、如何程澤山ノ規約ヲ設ケテモ又ハ嚴重ナ制裁規定ヲ作ツテモソレダケテハ無益テアル。之ハ年來吾人ノ唱道シテ來タ事ダ。戰爭防止ノ方面タケテナシニ、戰爭ノ發生ニ對シテモ少クトモ同等ノ努力ト將來ニ對スル洞察トヲ須ヒナケレハ何等效果ヲ收メルコトハ出來ナイ。

十二年以上聯盟ハ只管煩鎖ナ事務ニノミ没頭シテ此ノ間ノ要務ヲ等閑ニ附シタ。日支ノ増大シツツアル緊張力早晚爆發スルトイフ位ノ事ハ極東問題ヲ注視スル識者ノ誰シモカ七八年來察シテ居タ所テアル。

聯盟モ米國モ馬ニ逃ケラレテカラ廢ヲ閉メタ形テアル。露府モ華府モ支那ノ現實ニ眼ヲ閉チタ。而シテ日本ノ「生存權」ノ承認トイフ事ニハ一指ヲモ動カサス、一語ヲモ發シヤウトハシナカッタ。支那ニハ元來組織的政府ハ存在シナイ。無辜ノ良民ハ内亂ニ苦シ

0361

ミ、内地ニ於ケル其ノ害毒ニ至ツテハ國際戰爭ノソレヨリモ甚タシイ。露府及米國ハ到底此ノ變局ニ善處出來サウモナイ。サレバコソ爆發力起ツタノテアル。

茲ニ於テカ吾人ハ一ノ教訓ニ達着スル。一切ノ理論的論爭ヲ忘レテ政治家ハ事件ノ本質ヲ凝視セネハナラヌト云フ事之テアル。日支關係上ニ實際的ナ一大調整ヲ加ヘルノハ刻下ノ急務テアルト同時ニ世界平和ヲ維持スル上ニ必要タトイフコトヲ認メネハナラヌ。米露兩國ノ加入シテ居ナイ而モ不完全ナ國際政治機關ニ依リ一萬哩モ遠方ノ事件ヲ瑞西ノ一都市テ解決シ様ナドトハ無理テアル。何ト云ツテモ解決ハ南京對東京ノ直接交渉ニ依ルノ外ハナク、右直接交渉ニ對シ第三國ニ邪魔ヲ入レサセテハナラヌ。

英國ハ百万方參戰ヲ回避セネハナラヌ。又回避スルテアラウ。今極東ノ戰爭渦中ニ投スルコトハ何レガ勝ツテモ英國ハ損ヲスルダケダ。假令他國力肯セストスルモ英國自身ハ本和ヲ確保ス可キテアル。一萬哩モ遠方ノ戰爭ニハ參加ス可キテハナイ。何者モ英國ヲ動力シテ戰爭ニ投セシムルコトハ出來ヌ。

0362

佛 國

「マタン」紙上「ステファアース、ローザンヌ」氏評論（廿四日）
「ボイコット」ハ戦争ナリヤトノ論說ヲ掲ケ、米國ニ於ケル極東
問題ノ權威者タル「ロバート、ギルバート」ノ如キ者カ支那ノ「ボ
イコット」ヲ論スルトキハ最モ信憑ニ値スヘキモノナリトテ其ノ
論文ノ要旨ヲ引用シ（第一〇三號一頁参照）米國最高法院カ「ボ
イコット」ヲ以テ殘忍非人道ナル侵略ノ武器ナリト斷定シタル點
ヲ特記シ、尙「リットン」卿カ上海ニ於テ「何レノ國モ他國ニ對
シテ危害、侵略的感情ヲ唆リタル場合其ノ結果ニ付聯盟ノ介入ヲ
求ムヘカラス」ト言ヘルハ至言ニシテ聯盟總會ハ之ヲ是認スヘキ
ナリト論セリ。

0363

米 國

「イーヴニング・ポスト」（廿三日）

對日經濟斷交論者ハ之ヲ以テ平和手段ト考ヘ居ルモ、這ハ「ボラ
ー」ノ說ノ如ク戰爭手段ニシテ米國ハ武力ノ後援ナクシテ結局戰
争ニ導ク惧アル對日政策ヲ採用スル能ハサルノミナラス輿論モ亦
米國カ極東問題ノ爲開戦スルコトニハ全然反對シ居レリ。又世上
米國カ右經濟的「ボイコット」適用ノ爲他國ト協調セサルヲ云々
シ、又之ヲ以テ保護關稅ト同一視スル者スラ有ルカ事實上未タ各
國共單獨ニモ共同的ニモ正式ニ斯カル方策ヲ提案シ居ラス、且右
ハ關稅ト異ナリ日本ニ差別的待遇ヲ與ヘ米國ノ政策ニ背馳スルト
共ニ或ハ日米通商條約侵犯トモナルヘク、現ニ米國ハ極東ニ利益
ヲ有スル諸國ト共ニ右適用ニ反對シ居ルモノナリ。

ニ「オレゴン、ジャーナル」

廿一日ノ紙上ニ多年比律賓ニテ公私ノ要職ニ從事シタリト云フ加
州人 James Raftery ナル者ノ左ノ如キ談話ヲ掲ケタリ。

0364

日本ハ比律賓ニ於テ安價ナル勞働ト政府補助トニ依リ亂暴ナル
投資ヲ爲スカ故ニ米國人ハ其競争ニ耐ヘス、日本人ノ事業ハ料
理店、理髮店ニ至ル迄補助ヲ受ケ居レリ、此結果最近三年間ニ
護謨、興行物、「レイヨシ」其他多數ノ事業ハ米國人ノ手ヨリ
奪ヒ去ラレ、之レ以上日本人カ如何ニシテモ越ヘ得サル關稅ノ
障壁ヲ設クルニ非スンハ米國人モ比島人モ到底立ツ能ハス、日
本ハ嘗テ戰敗ノ經驗ナキヲ以テ如何ナルコトニテモ爲シ遂ケ得
トノ厄介ナル妄想ヲ抱キ居レリ。然レトモ日本ノ經濟ハ支那ノ
「ボイコット」ニ依リ大打撃ヲ受ケタルヲ以テ、茲ニ若シ米國
カ「ボイコット」ヲ行フカ或ハ之ヲ以テ威嚇セハ日本ハ商業的
ニ滅亡スヘシ云々。

更ニ翌廿二日社説欄ニ於テ重ネテ同人ノ談話トシテ「過般來度々
起レル日本人ノ米人攻撃事件ハ日本人ノ對米感情ヲ示ス適例ナリ。
日本ハ今ヤ軍閥ノ絶對支配ノ下ニ在リ、彼等ハ領土占領併合慾ニ
渴ケリ。日本軍閥ノ戰爭熱ト飽クコトナキ野心ヲ制御スル爲ニ必

要ナラハ宜シク對日經濟絶交ヲ斷行スヘク、或ハ當方面ノ木材業
者ハ之ニ反對ナランモ日本ハ既ニ軍備ニ多額ノ金ヲ費シ木材ヲ買
フヘキ金ヲ有セス云々」ヲ引用シ米國及他ノ諸國カ速ニ日本軍閥
ヲ制御スレハスル程軍需品製造者以外ノ米國商工業者ニ取リ利益
ナリト論セリ。

0366

0365

✓ 191

(甲號)

閣總理大臣

各省大臣（除宮内大臣）

關東長官

朝鮮總督

臺灣總督

樞密院議長

同 副議長

✓ 内閣書記官長

✓内務次官（一〇〇部）

法制局長官

樞密院書記官長

大臣

(發信人)

0368

190

(A) 1.1.0.25-6-2-1

ۛ

又書
長
代

昭和七年三月廿一日發送濟

情報部第一課長

昭和七年二月二十日

清洲事變ニ關スル歐米新聞論調（一五）

送付先別表ノ通り

外論於先日文律實事並要係一牛
與論並新原論調外國部
執部調書序係

0367

✓ 193

(乙號)

✓ 閑院宮家	浮田	事務官
✓ 秩父宮家	前田	事務官
✓ 高松宮家	吉島	事務官心得
✓ 伏見宮家	奥名	事務官
✓ 公爵 西園寺公望	静岡縣興津町	
✓ 伯爵 牧野伸顯	芝區三田臺町一ノ五	
✓ 伯爵 山本權兵衛	芝區高輪臺町三二	
✓ 伯爵 清浦奎吾	府下入新井新井宿二二一一	
✓ 伯爵 伊東巳代治	麴町區永田町一ノ一七	
✓ 子爵 金子堅太郎	神奈川縣葉山町一色	
✓ 久保田讓	小石川金富三五	
✓ 富井政章	牛込市谷藥王寺七一	
✓ 石黒忠憲	牛込揚場一七	
✓ 黒田長成	赤坂福吉一	

0370

✓ 192

✓ 資源局長官	同
✓ 貴族院書記官長	同
✓ 衆議院書記官長	同
✓ 關東廳外事課長	情報部
✓ 參謀本部 (五部)	同
✓ 海軍軍令部 (五部)	同
✓ 陸軍省新聞班長	同
✓ 陸軍省調査班	同
✓ 鐵道省國際觀光局長	同
✓ 陸軍省調査班 原少佐	同
✓ 印刷局官報課長	同
✓ 陸軍省軍務局長 (三部)	同
✓ 海軍省軍務局長 (三部)	同

0369

0372

0371

197

- ✓ 山 道 襄 一 民政黨本部
- ✓ 鶴 見 祐 輔 赤坂區青山南町五ノ四五
- ✓ 門 多 榮 男 有樂町二ノ四日本ビル内外産業資料調査會
- ✓ 半 澤 玉 城 麴町區中六番町一四 外交時報社
- ✓ 菱 田 靜 治 青山南町三ノ五五
- ✓ 高 久 甚之助 東京驛内「ジャパニスト、ビュロー」
- ✓ 太平洋問題調査會 (十部) 銀座西七ノ三 貿易會館
- ✓ 國際聯盟東京支局 青木節一
- ✓ 國際聯盟協會 丸ノ内二ノ一二 十三號館
- ✓ 日本外事協會 稻 原 勝 治 (二部) 麴町區内幸町太平ビル
- ✓ 日華實業協會 丸ノ内三ノ八 仲六號館
- ✓ 滿鐵東京支社調查係 (六部)
- ✓ 東亞經濟調查局 麴町區内山下町一ノ一 東洋ビル
- ✓ 滿鐵本社總務部調查課
- ✓ 研究會 (十部) 麴町區三年町一

0374

✓ 196

- ✓ 永 井 柳太郎 市外千駄ヶ谷町五〇七
- ✓ 中 野 正 剛 青山南町一ノ八
- ✓ 立 作 太郎 同
- ✓ 神 川 彦 松 同
- ✓ 高 柳 賢 三 同
- ✓ 横 田 喜 三 郎 同
- ✓ 磯 山 政 道 東京帝大法學部
- ✓ 關 口 泰 有樂町東京朝日新聞社
- ✓ 福 田 市 平 麴町區内幸町ジャパン、タイムス社
- ✓ 熊 崎 良 芝區三田小山町一
- 理事 木 村 銳 市 滿鐵東京支社
- ✓ 山 川 端 夫 丸ノ内仲通四號館中央滿蒙協會内六日會
- ✓ 青 木 新 澁谷町松濤六〇
- 長岡 春 一 四谷區花園町八八

0373

199

✓ 臺灣製糖株式會社	✓ 大阪商船株式會社	✓ 日清紡績株式會社	✓ 富士瓦斯紡績株式會社	✓ 福島紡績株式會社	✓ 倉敷紡績株式會社	✓ 内外棉花株式會社	✓ 東洋紡績株式會社	✓ 大日本紡績株式會社	✓ 鐘淵紡績株式會社	✓ 日本産業株式會社	✓ 朝鮮銀行	✓ 大日本麥酒株式會社	✓ 安田銀行	✓ 日本興業銀行
社長 武智直通	社長 堀啓次郎	社長 宮島清次郎	社長 持田巽	社長 八代祐太郎	社長 大原孫三郎	社長 武居綾藏	社長 阿部房次郎	社長 菊地恭三	社長 津田信吾	社長 鮎川義介	總裁 加藤敬三郎	社長 馬越恭平	頭取 安田善次郎	總裁 結城豐太郎

0376

198

✓ 日本經濟聯盟會	✓ 神戶商工會議所會頭	✓ 名古屋商工會議所會頭	✓ 京都商工會議所會頭	✓ 大阪商工會議所會頭	✓ 橫濱商工會議所會頭	✓ 東京商工會議所書記長	✓ 日本商工會議所會長	✓ 東京中央放送局「ニュース」係	✓ 立憲政友會本部(十部)	✓ 立憲民政黨本部(十部)	✓ 大曜會(五部)	✓ 同和會(五部)	✓ 交友俱樂部(五部)	✓ 正會(五部)	✓ 同成會(五部)
丸ノ内「ノ」						渡邊鐵藏							永田町二丁目一番地		
												三年町一	昭和會館內		幸俱樂部內
													霞山會館內		

0375

東京毎日新聞社	同	(二部)	京橋區西三丁目
ジャパン、タイムズ社	同	(二部)	麹町區内幸町一ノ五
東京夕刊新報社	同	(二部)	京橋區京橋三丁目一ノ七
東京毎夕新聞社	同	(二部)	日本橋區松島町一ノ三〇
讀賣新聞社	同	(二部)	京橋區北紺屋町一〇
中央新聞社	同	(二部)	麹町區内山下町一ノ一
日本新聞社	同	(二部)	麹町區有樂町二ノ四
都新聞社	同	(二部)	麹町區内幸町一ノ五
中外商業新報社	同	(二部)	日本橋區北島町一
報知新聞社	同	(二部)	麹町區有樂町一ノ一三
國民新聞社	同	(二部)	京橋區加賀町一ノ二
時事新報社	同	(二部)	丸ノ内二ノ一八
東京日日新聞社	同	(二部)	麹町區有樂町一ノ二
東京朝日新聞社編輯局長	(二部)		麹町區有樂町三ノ一
三井銀行		社長	三井 源右衛門

0378

大日本製糖株式會社	社長	藤山 雷太
三菱合資會社	總理事	木村 久壽彌太
橫濱正金銀行	頭取	兒玉 謙次
日本郵船株式會社	社長	各務 錄吉
三井合名會社	理事長	團 琢磨
日本銀行	總裁	土方 久徵
住友銀行	專務取締役	八代 則彦
臺灣銀行	頭取	島田 茂
大倉組	頭取	大倉 喜七郎
第一銀行	頭取	石川 健吾
明治製糖株式會社	社長	相馬 半治
東洋棉花株式會社	專務取締役	山崎 一保
芝浦製作所	社長	平田 篤次郎
橫濱海上火災保險株式會社	社長	井坂 孝
日本勸業銀行	總裁	馬場 鉄一
同 調査課		

0377

- 土井總務課長
- 東京銀行俱樂部閱覽室
- 學士會
- 交詢社
- 日本工業俱樂部
- 日本俱樂部
- 大日本紡績聯合會
- 町田外報部長
- 國際資料協會
- 頭本元貞
- 侯爵德川賴貞
- 東京大勢新聞社
- 日本合同通信社
- 丸ノ内新聞社
- 日本橋區通二丁目住友合資會社
- 丸ノ内一ノ八
- 神田區錦町三ノ一三
- 京橋區銀座六ノ四
- 丸ノ内一ノ二
- 丸ノ内三ノ一二
- 大阪市中之島江商ビル内
- 東京朝日新聞社
- 京橋區本八丁堀四ノ五
- 麴町内幸町一ノ四
- 市外上大崎町三三一
- 京橋區銀座西五丁目
- 芝區琴平町二番地
- 芝區愛宕町二ノ一一三

0380

- 二六新報社 同 (二部) 芝區芝口二ノ七
- 萬朝報社 同 (二部) 京橋區銀座西二ノ三
- やまと新聞社 同 (二部) 芝區愛宕町二ノ三二
- 大阪毎日新聞社 同 (二部) 大阪市北區堂島上二ノ三六
- 大阪朝日新聞社 同 (二部) 大阪市北區仲之島三ノ三
- 新聞聯合社 (四部)
- ジャパン、アドヴァンタイザー社内 (二部)
- ウイルフリッド、フライシャー (二部)
- 日本電報通信社 (二部)
- 同社内 ヴォーリン
- 同社内 マガジン社
- 麴町區内幸町一ノ六

0379

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp/>

0384

0383

211

山道襄一 民政黨本部
 鶴見祐輔 赤坂區青山南町五ノ四五
 門多榮男 有樂町二ノ四日本ビル内内外産業資料調査會
 半澤玉城 麴町區中六番町一四 外交時報社
 菱田靜治 青山南町三ノ五五
 高久甚之助 東京驛内「ジャパントーリスト、ビュロー」
 太平洋問題調査會(十部) 銀座西七ノ三 貿易會館
 國際聯盟東京支局 青木節一
 國際聯盟協會 丸ノ内二ノ一二 十三號館
 日本外事協會 稻原勝治(二部) 麴町區内幸町太平ビル
 日華實業協會 丸ノ内三ノ八 仲六號館
 滿鐵東京支社調查係(六部)
 東亞經濟調查局 麴町區内山下町一ノ一 東洋ビル
 滿鐵本社總務部調查課
 研究會(十部) 麴町區三年町一

0388

210

長岡春一 四谷區花園町八八
 青木新 澁谷町松濤六〇
 山川端夫 丸ノ内仲通四號館中央滿蒙協會内
 六日會
 理事 木村銳市 滿鐵東京支社
 熊崎良 芝區三田小山町一
 福田市平 麴町區内幸町ジャパン、タイムス社
 關口泰 有樂町東京朝日新聞社
 蠟山政道 東京帝大法學部
 横田喜三郎 同
 高柳賢三 同
 神川彦松 同
 立作太郎 同
 中野正剛 青山原宿一九八
 永井柳太郎 市外千駄ヶ谷町五〇七

0387

2/3

✓	臺灣製糖株式會社	社長	武智直通
✓	大阪商船株式會社	社長	堀啓次郎
✓	日清紡績株式會社	社長	宮島清次郎
✓	富士瓦斯紡績株式會社	社長	持田巽
✓	福島紡績株式會社	社長	八代祐太郎
✓	倉敷紡績株式會社	社長	大原孫三郎
✓	内外棉花株式會社	社長	武居綾藏
✓	東洋紡績株式會社	社長	阿部房次郎
✓	大日本紡績株式會社	社長	菊地恭三
✓	鐘淵紡績株式會社	社長	津田信義
✓	日本産業株式會社	社長	鮎川義介
✓	朝鮮銀行	總裁	加藤敬三郎
✓	大日本麥酒株式會社	社長	馬越恭平
✓	安田銀行	頭取	安田善次郎
✓	日本興業銀行	總裁	結城豐太郎

0390

2/2

✓	同成會(五部)	幸俱樂部内
✓	公正會(五部)	昭和會館内
✓	交友俱樂部(五部)	永田町二丁目一番地
✓	同和會(五部)	三年町一昭和會館内
✓	火曜會(五部)	霞山會館内
✓	立憲民政黨本部(十部)	
✓	立憲政友會本部(十部)	
✓	東京中央放送局「ニュース」係	
✓	日本商工會議所會長	
✓	東京商工會議所書記長	渡邊鐵藏
✓	橫濱商工會議所會頭	
✓	大阪商工會議所會頭	
✓	京都商工會議所會頭	
✓	名古屋商工會議所會頭	
✓	神戸商工會議所會頭	
✓	日本經濟聯盟會	

丸ノ内一ノ二

0389

215

✓ 東京毎日新聞社	同	(二部)	京橋區西三丁目
✓ ジャパン、タイムズ社	同	(二部)	麹町區内幸町一ノ五
✓ 東京夕刊新報社	同	(二部)	京橋區京橋三丁目一ノ七
✓ 東京毎夕新聞社	同	(二部)	日本橋區松島町一ノ三〇
✓ 讀賣新聞社	同	(二部)	京橋區北紺屋町一〇
✓ 中央新聞社	同	(二部)	麹町區内山下町一ノ一
✓ 日本新聞社	同	(二部)	麹町區有樂町二ノ四
✓ 都新聞社	同	(二部)	麹町區内幸町一ノ五
✓ 中外商業新報社	同	(二部)	日本橋區北島町一
✓ 報知新聞社	同	(二部)	麹町區有樂町一ノ一三
✓ 國民新聞社	同	(二部)	京橋區加賀町一ノ二
✓ 時事新報社	同	(二部)	丸ノ内二ノ一八
✓ 東京日日新聞社	同	(二部)	麹町區有樂町一ノ二
✓ 東京朝日新聞社編輯局長	(二部)	麹町區有樂町三ノ一	
✓ 三井銀行	社長	三井 源右衛門	

(0392

214

✓ 大日本製糖株式會社	社長	藤山 雷太
✓ 三菱合資會社	總理事	木村 久壽彌太
✓ 橫濱正金銀行	頭取	兒玉 謙次
✓ 日本郵船株式會社	社長	各務 錄吉
✓ 三井合名會社	理事長	團 琢磨
✓ 日本銀行	總裁	土方 久徵
✓ 住友銀行	專務取締役	八代 則彦
✓ 臺灣銀行	頭取	島田 茂
✓ 大倉組	頭取	大倉 喜七郎
✓ 第一銀行	頭取	石川 健吾
✓ 明治製糖株式會社	社長	相馬 半治
✓ 東洋棉花株式會社	專務取締役	山崎 一保
✓ 芝浦製作所	社長	平田 篤次郎
✓ 橫濱海上火災保險株式會社	社長	井坂 孝
✓ 日本勸業銀行	總裁	馬場 鉄一
✓ 同 調査課		

(0391

216

- ✓ 二六新報社 同 (二部) 芝區芝口二ノ七
- ✓ 萬朝報社 同 (二部) 京橋區銀座西二ノ三
- ✓ やまと新聞社 同 (二部) 芝區愛宕町二ノ三二
- ✓ 大阪毎日新聞社 同 (二部) 大阪市北區堂島上二ノ三六
- ✓ 大阪朝日新聞社 同 (二部) 大阪市北區仲之島三ノ三
- ✓ 新聞聯合社 (四部)
- ✓ ジャパン、アドヴァータイザー社内 (二部)
- ✓ ウイルフリッド、フライシャー (二部)
- ✓ 日本電報通信社 (二部)
- ✓ 同社内 ヴォーリン
- ✓ ジャパン、マガジーン社 麴町區内幸町一ノ六
- ✓ 石井字除
- ✓ 新井字除
- ✓ 南字除
- ✓ 久安字除

0393

217

- ✓ 土井總務課長
- ✓ 東京銀行俱樂部閱覽室
- ✓ 學士會
- ✓ 交詢社
- ✓ 日本工業俱樂部
- ✓ 日本俱樂部
- ✓ 大日本紡績聯合會
- ✓ 町田外報部長
- ✓ 國際資料協會
- ✓ 頭本元貞
- ✓ 侯爵徳川頼貞
- ✓ 東京大勢新聞社
- ✓ 日本合同通信社
- ✓ 丸ノ内新聞社
- 日本橋區通二丁目住友合資會社
- 丸ノ内一ノ八
- 神田區錦町三ノ一三
- 京橋區銀座六ノ四
- 丸ノ内一ノ二
- 丸ノ内三ノ一二
- 大阪市中之島江商ビル内
- 東京朝日新聞社
- 京橋區本八丁堀四ノ五
- 麴町内幸町一ノ四
- 市外上大崎町三三一
- 京橋區銀座西五丁目
- 芝區琴平町二番地
- 芝區愛宕町二ノ一一三

0394